

感覚を研ぎ澄ます

9月15日(火)から総合型選抜の出願が始まりました。いよいよ本格的に入試シーズンが到来しました。今まで以上にこれからの取り組みが大切になってきます。焦らず、周りに惑わされず、自分の目標に向かって前進してほしいと思います。

最近、様々なことが耳に残るようになりました。何気ない会話の一言や音楽の歌詞、講演の一節など、今まで気にしなかったものを意識するようになっていきます。皆さんに話をする機会が増えたからなのかもしれません。これをしなければとか、気になることが見つかったとか、何かを意識するようになると感覚が研ぎ澄まされるのでしょうか。ぜひ皆さんは、進路意識を研ぎ澄ませてみてください。見えなかった何かが見えてくる、気づかなかった何かに気づく、見つからなかった何かが見つかるようになると思います。

感覚を研ぎ澄ます中では、孤独になる時間も必要です。樺坂46の「サイレントマジョリティー」は皆さん知っていますよね。政治的な鋭いメッセージが込められた歌詞ですが、そこに「夢を見ることは時には孤独にもなるよ 誰もいない道を進むんだ」という一節があります。自分の夢、志望をしっかりと見つめ、考えていく時には、自分を見つめ一人で考える時間が必要です。そして、その夢を実現させていくためにも孤独な時間は必要です。自分の志望は友達とは違います。一人一人絶対に違っています。自分が目指す道を一人で進んでいかなければなりません。今、一人になる時間、一人で頑張る時間を恐れることなく、孤独な時間を大切にしてください。その先には新しい将来が待っています。

さあ、胸を張り、「高い志」と「チャレンジ精神」で、進路志望の実現に向けて、思いっきり大きく歩みを進めて行きましょう。

(文責 堀)

『3年の窓』

共通テストまであと18weeks!

3年生の教室へと上がる階段に掲示してある「共通テストまで〇weeks」のカウントダウンも今週で18weeksとなりました。6月に学校が再開した時には33weeksでしたが、時間は着実に進んでいますね。推薦入試の応募も始まり、受験に対する緊張感も高まってきたのではないのでしょうか?

さて、来週の金曜日からは前期末考査が始まります。土曜日にマーク模試が終わったと思えば今度は学校の試験、次の週にはまた模擬試験…目の前の課題をこなすことに精いっぱいになってしまいそうなスケジュールです。いろいろなことが重なり、気持ちを維持することもなかなか大変ですね。

しかし、前期末考査の勉強に加えて必ずみなさんの力になるものが、模擬試験です。先日の英語科の通信では「秋以降は演習量を確保しよう」とありましたが、模擬試験ほど本番を意識して演習に取り組むことのできる機会はありません。やりっぱなしではもったいない!点数に一喜一憂することなく、間違えたものを中心に問題を解きなおしてみましょう。模試の目的は、今の自分の立ち位置を掴むだけではないはず。 「何ができなかったか」だけではなく、「なぜできなかったか」を見つけ、自分の力で解けるように、これまでの模試を活用してください。記憶の新しいうちに12日のマーク模試の見直しができるといいですね。

とはいっても、まずは前期末考査!そして次の模試は10月10日のベネッセ駿台記述模試です。一つずつ取り組んでいきましょう。みんなの今の頑張りは、確実に力になっています!

(文責 今村)

2年の窓

前期期末考査まで残りわずかですね。テスト勉強は、はかどっていますか？

さて先日卒業生と語る会がありました。今回は、大学4年生や大学院生に加えて、僕が3年前に担任をしていた学年の生徒に声をかけて来校またはオンラインで参加してもらいました。自分が声をかけた生徒の中には今研究やインターンシップ等で参加できない人も多くいましたが、3年後の生活をいくつか聞くことができてとても楽しかったです。

高校2年生の君たちにとっても卒業生の話は身近に感じてもらえたのではないのでしょうか。すべての学部を網羅できたわけではないので、皆さんの進路とマッチした話ばかりではなかったかもしれません。しかし大学の雰囲気や将来（卒業後）の自分を想像するキッカケになっていれば幸いです。

今、みなさんは高校性として勉学に励んでいると思いますが、それは将来の自分への投資として頑張っている人が多いと思います。ただ将来に具体的に見通しが持てないこともあると思います。私自身もそうでした。目の前のやるべきことをガムシャラに取り組むことも大切だと思いますが、目標をもって取り組むことが効果を上げ、充実度を上げることに繋がります。1週間後、1か月後、1年後、3年後、5年後の自分を想像して、目の前のやるべきことを取り組んでクダサイネ！！（^~^）／

まずは期末考査です。それぞれ出来ること・やるべきことに精一杯取り組んでより良い自分を目指しましょう。また10月の終わりには進研模試があります。志望校をいくつか挙げられるようにして学習に、部活に、高校の青春に励んでください。
(文責：渡辺完)

1年の窓

文理選択はその後の進路を大きく左右する！

みなさんは数年後、どんな自分になっていたと思いますか？「まだわからない。」「将来のことはまだ早い」と思っている人もいるかもしれません。しかし、早いなんてことは全くありません！夏休み前に、文理選択の話がありましたね。この文理選択のタイミングを機会に自分と向き合ってみましょう。

文理選択はその後の進路を大きく左右します。大学の入試は学部によって入試科目が異なるため、文系と理系でそれぞれ受験できる学部が異なります。大学によって学べる分野や取得できる資格は全く違うので、どの大学、学部を選ぶかは重要ですね。そして、進学先で何を学んだかどんな資格を取ったかが、その後の就職先選びにもつながっていきます。文理選択によって将来の選択肢が大きく変わってきますね。自分の可能性が広がるのは文系、理系どちらでしょうか？もう一度、自分にとって興味がある、面白い、好きだと感じることは何か、大人になっても続けていきたいことは何かじっくり考えてみてください。

【文理選択の5つの考え方】

- 1 なりたい職業から
- 2 進学先で学びたい学問から
- 3 入試科目から
- 4 得意科目を生かせるほうに
- 5 周囲のアドバイス

【文理選択NGパターン】

- ・得意、不得意だけで決める
- ・人に流される
- ・苦手科目を克服する気がない
- ・興味がコロコロ変わる
- ・何も考えずに決める…等

(スタディサポート
Planning book 参照)

(文責：佐藤)

【進路からのお知らせ】

進路に関する情報は、多治見高校ホームページの「進路」に掲載してあります。ぜひ、アクセスしてください。

文部科学省や大学入試センターにもアクセスできるようにリンクが貼ってあります。

また、志望校の情報もしっかり収集してください。3年生は受験のために、2年生は科目選択のために、1年生は文理選択のためにも。

